



美作三湯芸術温度2025 展示作品集



# 美作三湯 芸術温度

Three hot springs of Mimasaka  
Art temperature

美作三湯芸術温度 2025 展示作品集



温泉に  
アート  
があると  
いいよ



北川太郎、長谷川さち「ひのした、みずのうえ」(奥津温泉 池田屋 河鹿園)

美作三湯芸術温度2025

会期 | 2025年8月29日～12月7日(101日間)

会場 | 美作三湯(湯原・奥津・湯郷温泉)の25宿泊施設等

キュレーター | 岸本和明(奈義町現代美術館 館長)

主催 | 岡山県

## ご挨拶

4回目の開催となった「美作三湯芸術温度2025」には、温泉地の27施設を会場に、県内外から31名のアーティストが参加し、温泉地という固有の環境における芸術表現の可能性を探ると同時に、地域文化の新たな価値創出を目指した文化芸術事業として開催しました。

今回の展示は、宿の一角に静かに配置された作品、フィルムに包まれた水を無数に吊るしたインスタレーション、同一空間において複数の作家が応答的に制作した室内作品群、日用品を素材とする大規模なインスタレーションなど、各宿の建築や歴史、空気感を取り込みながら展開されました。会期中には、三湯各地域でワークショップ、トークイベント、対話型鑑賞等関連イベントも行い、イベントにより深みと広がりが生まれました。

本展において作品は、単に鑑賞の対象として完結するのではなく、温泉地の自然、音、香り、湿度、人の往来といった環境要素と結びつき、体験として立ち現れていました。来場された皆様は、作品の鑑賞にとどまらず、三湯それぞれの地域で、アートがじんわりと染みわたる時間と空間を感じられたのではないのでしょうか。サブタイトルに掲げました「温泉にアートがあるということ」は、日常と非日常が交差する場に芸術が介在することで、風景や時間の質が変容し得るという可能性を示しています。

本事業は、それぞれの地域の温泉文化と現代アートを融合させることで、文化が持続的に地域と関わるあり方を提示しました。尚、開催にあたり、関係者ならびに来場者の皆様に深く感謝申し上げます。

### 岸本和明

美作三湯芸術温度キュレーター  
奈義町現代美術館 館長



## 目次

### 湯原温泉

- 04 檜尾 聡美／ゆばらの宿 米屋
- 06 ぐしけん しおり／プチホテルゆばらリゾート
- 08 胡桃澤 千晶／湯原ふれあいセンター
- 10 児玉 知己／湯快感 花やしき
- 12 高本 敦基／湯原国際観光ホテル 菊之湯
- 14 田淵 智也／松の家 花泉
- 16 徳持 耕一郎／下湯原温泉ひまわり館
- 18 波賀野 文子／さつき荘  
下湯原温泉ひまわり館
- 20 原倫太郎＋原游／ゆばらの宿 米屋
- 22 藤原 裕策／湯原ふれあいセンター
- 24 松岡 徹／元禄旅籠 油屋  
湯の蔵 つるや  
我無らん
- 26 三橋 直人／湯原国際観光ホテル 菊之湯
- 28 山部 泰司／八景

### 湯郷温泉

- 08 胡桃澤 千晶／ふくます亭
- 16 徳持 耕一郎／ポピースプリングス リゾート&スパ
- 22 藤原 裕策／ふくます亭
- 46 太田 三郎／花の宿 にしき園
- 48 片山 高志／ゆのごう館 Will be
- 50 柴川 敏之／和モダンなお宿 かつらぎ
- 52 高橋 直宏／湯郷グランドホテル
- 54 田代 卓／やさしさの宿 竹亭
- 56 寺本 明志／リゾートイン湯郷
- 58 花房 紗也香／ホテル湯の杜美春閣
- 60 森本 啓太／季譜の里

- 62 美作三湯芸術温度2025 会期中のイベント
- 63 美作三湯（湯原温泉・奥津温泉・湯郷温泉）の紹介
- 64 デザイン&ロゴ

### 奥津温泉

- 30 小野 耕石／池田屋 河鹿園
- 32 北川 太郎／池田屋 河鹿園  
長谷川 さち／池田屋 河鹿園
- 34 染谷 悠子／池田屋 河鹿園
- 36 中島 麦／米屋倶楽部 奥津
- 38 藤沢 まゆ／花美人の里
- 40 藤田 雅也／道の駅 奥津温泉
- 42 松村 晃泰／道の駅 奥津温泉
- 44 森山 知己／名泉鍵湯 奥津荘

榎尾 聡美 Kashio Satomi



2010年 多摩美術大学大学院テキスタイルデザイン研究領域修了  
 2012年 岡山県立大学デザイン学部助教（～2017年）  
 2015年 個展「アペルト2 榎尾聡美—生命の内側にひそむもの」  
 （金沢21世紀美術館、石川）  
 2022年 「北陸工芸の祭典 GO FOR KOGEI」（勝光寺、富山）  
 《受賞歴》  
 2014年 第7回岡山県新進美術家育成I氏賞・奨励賞  
 2016年 第17回岡山芸術文化賞・グランプリ<略歴>

室町時代に書かれた針聞書という鍼灸の本には人間の体内にいるとされた虫が描かれています。子どもの癩癧と向き合う最中に会ったどこかコミカルで魅力的なその絵に惹かれ、イメージを発展させました。私にとって布に色を置き、装飾を描くのは、生命の中の小さな営みを見つけていくような幸福感のある行為です。滲みや細かな装飾を用いて普段は目にすることのできない世界を描いています。



「はらのむしたちのあそびにわ」



ゆばらの宿 米屋(湯原温泉)  
 白壁と格子窓、なまこ壁、現代によみがえる宿場町の佇まい。岡山が誇る「千屋牛」を用いた会席料理に定評あり。

真庭市湯原温泉345-18 TEL:0867-62-3775



ぐしけん しおり Gushiken Shiori



1998年 沖縄県生まれ  
 2021年 「Dimensions Part 2」 ホワイトストーン画廊（東京）  
 2021年 「アート台北 Art Taipei」（台湾）  
 2023年 東北芸術工科大学大学院修士課程修了  
 2023年 「ART TAIPEI 2023」 台北世界貿易センター（台湾）  
 2025年 「Vision Art Exhibition 2025 Spring」（岡山）

理想を追いかけながらも、コンプレックスを抱え生きる女の子たち。  
 その姿をオリジナルのキャラクターとして描くことで、可愛らしさの奥にある影や  
 毒のようなものを浮かび上がらせています。  
 私にとってキャラクターを描くことは、日々「可愛いとは何か」を探し続ける行為  
 であり、その揺れ動く心を物語として形にすることです。  
 表面的な可愛らしさにとどまらず、内面に潜む複雑な感情を描き出すことで、少女た  
 ちが持つ多層的な魅力を伝えたいと考えています。



左上「浮世ふよ」 右上「羽化アクネ」 左下「泡食キョドー」 右下「美美ピリィ」



プチホテルゆばらリゾート(湯原温泉)  
 1860年製のアンティークオルゴール、東  
 京藝大作品や温泉むすめ等サブカルも。こ  
 だわりの地産地消の手料理や温泉もあり、  
 アットホームなサービス。

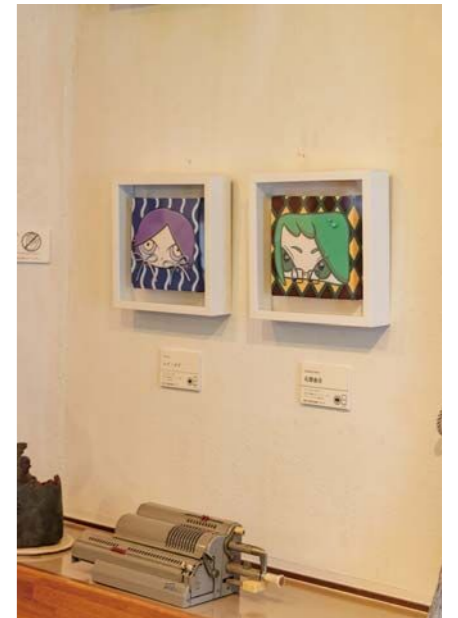
真庭市湯原温泉68 TEL:0867-62-2600



上「半裂凹花」 下「半裂笑」



「半裂咲」



左「レイ・メイ」 右「石部金吉」

胡桃澤 千晶 Kurumizawa Chiaki



1994年 多摩美術大学 絵画科陶芸専攻卒業  
 2006年 「Quiet sound」(イギリス)  
 2014年 個展「美しきものはみな眠る」(倉敷市立美術館)  
 2015年 「よどえアートプロジェクト」(鳥取県)  
 2016年 個展「SILVER LINING」(イギリス)  
 2019年 「木曾ペインティングス」(長野県)

水をフィルムで包み、空間に散りばめた作品や、その他さまざまな素材を使ったインスタレーション作品を制作しています。また独自のフィルターを通して写した写真や、映像なども制作。儚さや、ゆらぎ、歪みなどをテーマに、国内外で活動しています。



「山の中で」(湯原ふれあいセンター)



湯原ふれあいセンター(湯原温泉)  
 湯原振興局、湯原図書館、市民センター、湯原公民館の機能を有する複合施設で、住民や湯原を訪れる人が気軽に利用できる交流スペースもあります。

真庭市豊栄1515 TEL:0867-62-2011



ふくます亭(湯郷温泉)  
 湯郷の山々に隣接している為、四季折々の自然の美しさを満喫できます。  
 自家野菜や地元食材を取り入れた料理を堪能しながら、「美人の湯」に浸かり、心も体もリラックスしたひとときをお過ごし下さい。

美作市中山1203-6 TEL:0868-72-6111



「中では静かに雨が」(ふくます亭)



児玉 知己 Kodama Tomoki



- 2021年 個展 ～遠距離深夜行～ (華鶴大塚美術館)  
voca展 (上野の森美術館)
- 2022年 個展 ～cosmos～ (奈義町現代美術館)
- 2023年 個展 (esprit nouveau gallery / 岡山)
- 2024年 個展 ～utopia～ (mellowroom / 岡山)  
倉敷新鋭作家選抜美術展 (倉敷市立美術館)

私の住んでいる海沿いの港町。  
湯原まではここから約120km。  
2つの場所の水は途切れることなくつながっている。そう思うとそんなに遠くない  
気もしてくる。  
また、新しい作品を掲げて行こうと思う。  
河を遡上する魚のように。

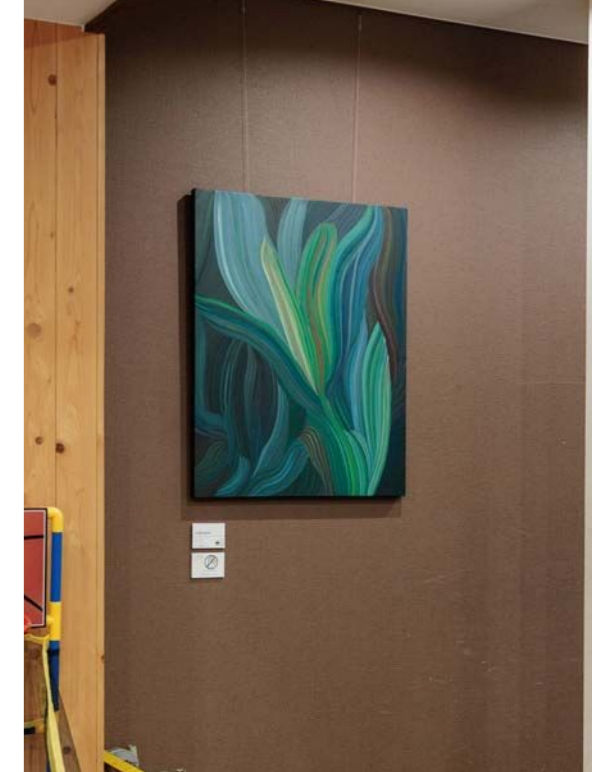


「pure land」



湯快感 花やしき(湯原温泉)  
アットホームで気取らぬ心からのおもてなしのお宿。月ごとに変わる手の込んだお料理は味よし、目で楽しんでよしと好評です。

真庭市湯原温泉21 TEL:0867-62-3341



「bright slowly」

「param no.4」

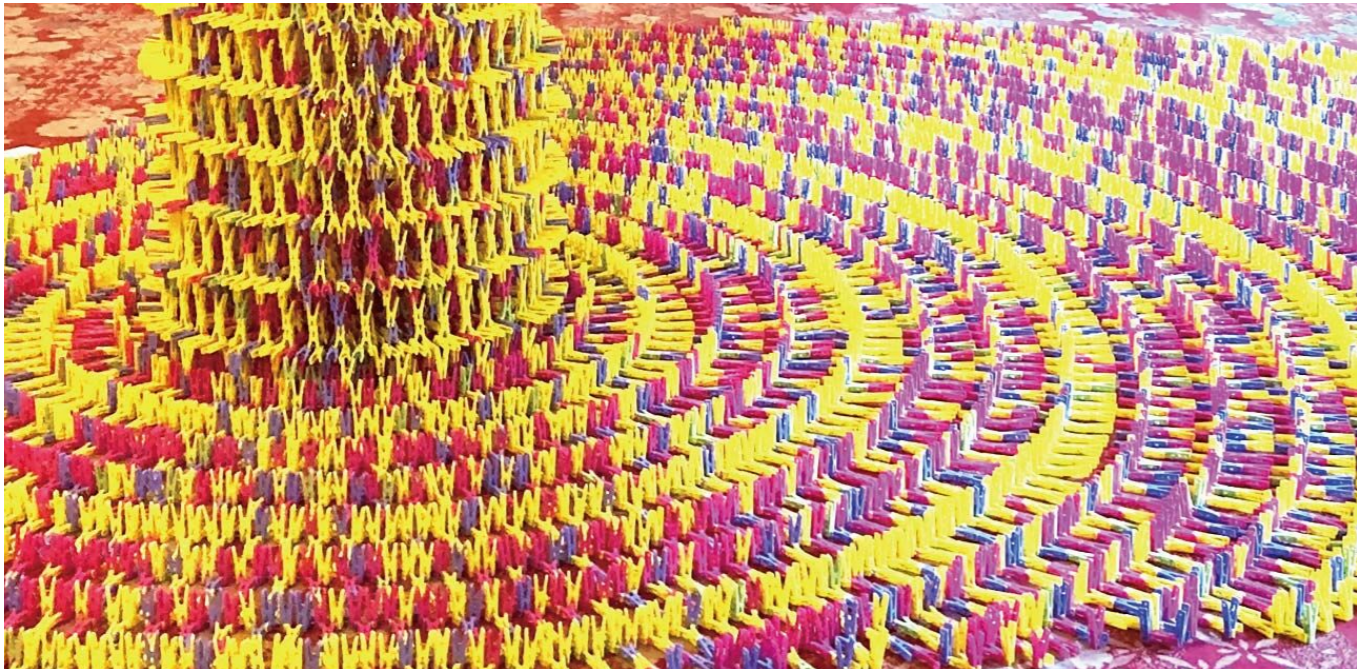


高本 敦基 Takamoto Atsuki



2003年 金沢美術工芸大学 油絵専攻 卒業  
 2005年 フランス国立ナンシー美術大学 大学院 終了  
 2014年 第17回 岡本太郎現代芸術賞 特別賞  
 2015年 第15回 岡山芸術文化賞 グランプリ  
 2015年 福武文化奨励賞  
 岡山県内では個展「組み立て式の社会」(奈義町現代美術館)等  
 多数展示を行っている。

普段目にする物質や存在から役割を解放し、それらを組み合わせながら現代社会を再考する制作を研究しています。



「Life in the Fall」



湯原国際観光ホテル 菊之湯  
 (湯原温泉)  
 旭川と山の緑を全室より望める、全国露天風呂番付西の横綱「砂湯」のお膝元のお宿。  
 ペット同伴可能な客室もあります。

真庭市湯原温泉16 TEL:0867-62-2111



「組み立て式の社会」



田渕 智也 Tabuchi Tomoya

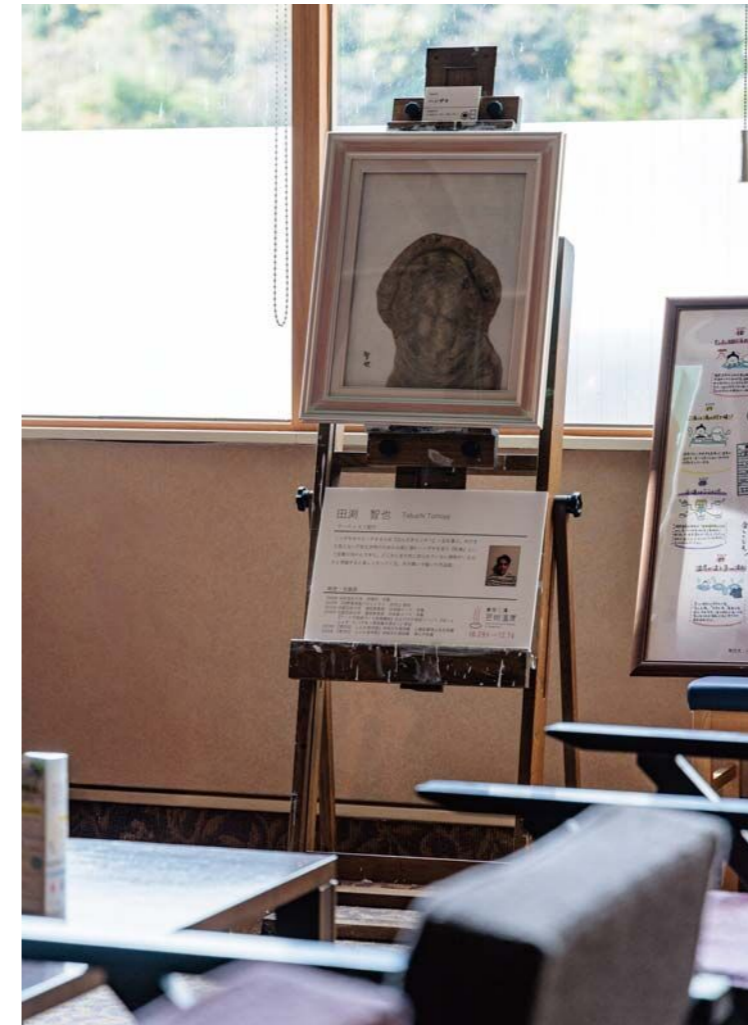


- 1999年 成安造形大学 洋画科 卒業
- 2010年 『岡野屋旅館プロジェクト 2010』 参加
- 2016年 京都芸術大学 通信教育部 日本画コース 卒業
- 2018年 京都芸術大学 通信教育部 日本画コース 卒業  
『アートで地域づくり実践講座』 およびその実証イベント  
『あーとふえす in つやま〜衆楽園を遊ぼう』 参加
- 2023年 『第35回 しんわ美術展』 地域文化奨励賞 山陽新聞津山支社長賞
- 2024年 『第36回 しんわ美術展』 地域文化奨励賞 津山市長賞

ハンザキをスケッチするため『はんざきセンター』へ足を運ぶ。先行きの見えない不安な世相のためか水底に潜むハンザキを見て『臥竜』という言葉が浮かんできた。どこかにまだ世に知られていない傑物がいるのかと想像すると楽しくなってくる。その勢いで描いた作品群。



「ハンザキ」



松の家 花泉(湯原温泉)

6つのお風呂からなる「花くらべ」の他、10の湯めぐりが楽しめる風呂自慢の宿です。

真庭市湯原温泉320-1 TEL:0867-62-2121

徳持 耕一郎 Tokumochi Koichiro



1989年 Open House Gallery, NYで個展。  
 1996年 Bronx River Art Center & Gallery, NYでグループ展を企画・参加。  
 2000年 Walt Disney Concert Hallに4点の作品が所蔵される。  
 2016年 Imagine Dragons, LA(グラミー受賞者)が作品の所有者に。  
 2022年 43rd Detroit Jazz Festivalの公式ポスターをデザイン。ステージにも立つ。  
 日本各地で、展覧会多数開催。

版画を専門に学び、ヨーロッパを2度放浪。'89年にNYビレッジでジャズに出会いジャズシーンをスケッチし始める。内外のジャズメンと交流し、'93年から鉄筋彫刻を作り始める。

浮世絵から学んだ「線」でジャズの躍動感を表現し、「線だけでどこまで立体感を表せるか」に挑戦している。



「トランペッターH2」(下湯原温泉ひまわり館)



「ギタリストS1」



「トランペッターG」



真庭市下湯原24-1 TEL:0867-62-7080

下湯原温泉ひまわり館(湯原温泉)  
 食事・入浴・売店がある湯の駅です。源泉かけ流しの露天風呂があり、なかでもペット専用の露天風呂もあり、多くのペット連れのお客様が訪れています。



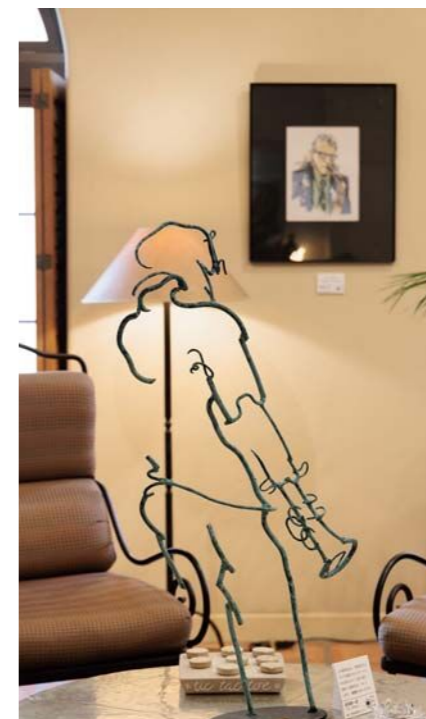
美作市湯郷538-1 TEL:0868-72-7575

ポピースプリングス リゾート&スパ(湯郷温泉)  
 カリフォルニアミッションスタイル建築のリゾートホテル。南カリフォルニア風の造りと欧米の調度品が非日常感を演出します。温泉・アロマテラピーそして野菜にこだわっています。

「フルーティストH3」



「背中のソプラノ」



「ボーカリストY1」



# 波賀野 文子 Hagano Fumiko



- 2018年 「京都花鳥館賞2018」 優秀賞
- 2022年 京都精華大学大学院 博士後期課程芸術研究科芸術領域 修了 博士(芸術)
- 2024年 「京都日本画家協会 第10期展」出展(京都文化博物館、京都) 「第三回露天風呂の日アート企画展」参加(湯原温泉、岡山) 「兵庫県展2024 絵画部門」神戸新聞社賞
- 2025年 「波賀野文子 個展 -オオサンショウウオ 春待つ日ター-」(Gallery Iro、東京)
- 2026年 「京都日本画新展2026」 優秀賞

オオサンショウウオの生命力、悠然とした佇まいとその美しさを絵で表現できるよう、日本画で用いられる岩絵の具独特の粒子のきらめき、繊細な色合いを活かした作品づくりを心がけて制作を続けています。



「芽吹」(下湯原温泉ひまわり館)



**さつき荘(湯原温泉)**  
 一日3組10名限りの小宿です。お風呂は、源泉掛け流し単純アルカリ泉で、肌はすべすべ、湯上り後のしっとり感たるや、何度も浸かりたくなる良泉です。貸切の時間制でご利用いただいておりますので、気兼ねなくのんびりとお楽しみください。

真庭市湯原温泉155 TEL:0867-62-2026



**下湯原温泉ひまわり館(湯原温泉)**  
 食事・入浴・売店がある湯の駅です。源泉かけ流しの露天風呂があり、なかでもペット専用の露天風呂もあり、多くのペット連れのお客様が訪れています。

真庭市下湯原24-1 TEL:0867-62-7080



「水の綾」(さつき荘)

「星をちりばめて」(さつき荘)



「星を辿って」(さつき荘)



原倫太郎＋原游 Rintaro Hara + Yu Hara



- 2008年 「第11回文化庁メディア芸術祭」 エンターテインメント部門奨励賞受賞
- 2023年 千葉市美術館でつくりかけラボ「RE 幼年期ディスカバリー」開催
- 2023年 「六本木アートナイト」に参加
- 2024年 「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」に参加
- 2024年 「芸術在樺山—広東南海大地の芸術祭」 仏山（中国）に参加
- 2025年 「瀬戸内国際芸術祭」に参加

インスタレーション作家の原倫太郎と画家の原游によるアーティスト・ユニット。個々の活動に加えてユニットとしての活動も多く、子どもから大人まで遊べるプレイグラウンドをテーマにした体験型作品を制作。近年は「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」、「瀬戸内国際芸術祭」においてキュレーションも担当。



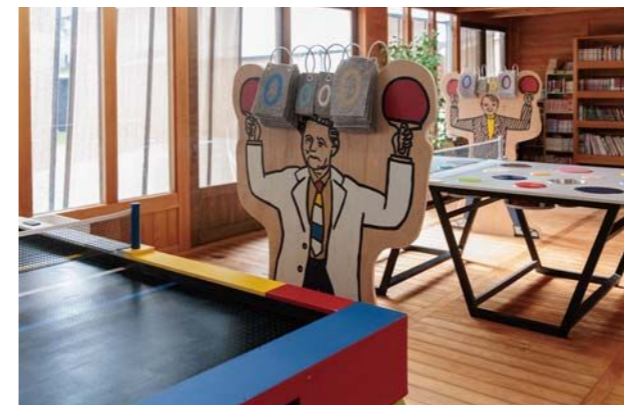
「ピンホッケー／エアボン(デ・スタイル)」



「ピンボンパン」



「森の卓球台」



ゆばらの宿 米屋(湯原温泉)  
 白壁と格子窓、なまこ壁、現代によみがえる宿場町の佇まい。岡山が誇る「千屋牛」を用いた会席料理に定評あり。

真庭市湯原温泉345-18 TEL:0867-62-3775

藤原 裕策 Fujiwara Yusaku



1995年 東京芸術大学油画専攻修士課程修了  
 2006年 「The Layer of Circles」(ルーマニア)  
 2007年 「Intersection, Import-Export」(モンゴル)  
 2008年 「Exposicion La Conquista」(メキシコ)  
 2016年 個展「Lotus」(イギリス)  
 2017年~2019年  
 「木曾ペインティングス」(長野県)

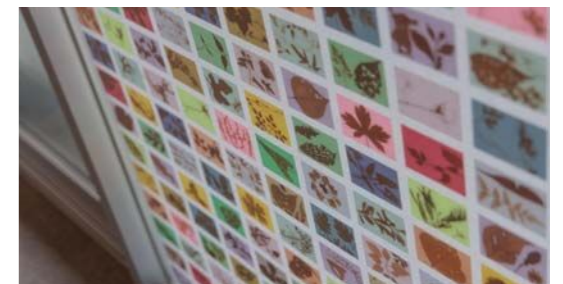
板に彩色(プラス)して彫り(マイナス)を施す独自の技法により、相反するイメージが錯綜する「板画」。草木や土、石などの自然素材を用いた平面作品やインスタレーション。その他さまざまなかたちで作品を制作し、国内外で発表しています。



「外では静かに雨が」(ふくます亭)



「薄雲Ⅰ」「薄雲Ⅱ」(湯原ふれあいセンター)



湯原ふれあいセンター(湯原温泉)  
 湯原振興局、湯原図書館、市民センター、湯原公民館の機能を有する複合施設で、住民や湯原を訪れる人が気軽に利用できる交流スペースもあります。

真庭市豊栄1515 TEL:0867-62-2011



ふくます亭(湯郷温泉)  
 湯郷の山々に隣接している為、四季折々の自然の美しさを満喫できます。自家野菜や地元食材を取り入れた料理を堪能しながら、「美人の湯」に浸かり、心も体もリラックスしたひとときをお過ごし下さい。

美作市中山1203-6 TEL:0868-72-6111

松岡 徹 Matsuoka Toru



- 2006年 「カリヤファンタジー計画」 刈谷市美術館 (愛知)
- 2007年 「旅する島〜 The travelling Island 〜」 Yoshiko Matsumoto Gallery (オランダ)
- 2014年 絵本「月へ行きたい」 出版 (福音館書店出版)
- 2016年 「佐久島のお庭と王様のイスと北のテーブル」佐久島 (愛知)
- 2017年 「SAKU islands in Gludstede」モニュメント制作(デンマーク)
- 2019年 しだみ古墳群ミュージアム モニュメント制作 (愛知)
- 2022年 「旅するカミサマ〜山ノモノ島ノモノ〜」 奈義町現代美術館 (岡山)
- 2023年 「はんざき足湯」制作 湯原温泉 (岡山)
- 2024年 「新造船 第二はまかぜ 外装デザイン」 (愛知)

その土地にまつわる物語や伝説をモチーフに、彫刻、絵画、ワークショップなど、特定の手法にとらわれない幅広い表現技法を駆使し、国内外で制作活動を行う美術家。2011年に奈義MOCAで県内初の個展を開催して以来、岡山県での活動が続いています。また、『月へ行きたい』(福音館書店) など絵本も手がける。



「狗はんざき「阿」「吽」(我無らん)



「はんざきさんと休憩中」(元禄旅籠 油屋)



**元禄旅籠 油屋**  
(湯原温泉)  
元禄元年以来300年に渡るその歴史あるお宿。「千と千尋の神隠し」のモデルのひとつと言われています。

真庭市湯原温泉27 TEL:0867-62-2006



**湯の蔵 つるや**  
(湯原温泉)  
元酒蔵の趣ある和室造りのお宿。美味しいお酒とそれに合うお料理でもてないたします。

真庭市湯原温泉144 TEL:0867-62-2016



**我無らん**(湯原温泉)  
パシスタイルな落ち着いた空間のお部屋で誰にも邪魔されずゆっくりと籠れるお宿。全室天然のかけ流しの温泉を贅沢に堪能できます。

真庭市湯原温泉114 TEL:0867-62-2292



「つるとはんざき物語」(湯の蔵 つるや)



三橋 直人 Mitsuhashi Naoto



2020年～ 奈良県 吉野熊野国立公園 大台ヶ原山をテーマに、山麓に移住し、山に通い続けながら写真家として活動。  
 2021年 JPS（日本写真家協会）展 入選  
 2022年 大台ヶ原山の写真家としてNHK出演及び写真作品の紹介。  
 2023年～2024年 全国10箇所で個展の開催、各種メディア掲載。  
 2025年 THE NORTH FACEに写真作品を提供、フライヤー等に掲載。  
 2025年 SONY THE NEW CREATORS 佳作

奈良県にある吉野熊野国立公園 大台ヶ原山をテーマに撮影する風景写真家。  
 国立公園の風景写真作品を作風としており、テーマとする大台ヶ原山麓の上北山村に移住をして、写真家として活動している。昼夜・天候・季節を問わず、大台ヶ原山に通い詰めながら、誰も見たことがない山の風景を写真作品として発表している。  
 幼少期より祖父母の出身地でもある岡山県北部の自然風景が好きで、風景写真家を志すきっかけの一つとなった。



「HIRUZEN」



湯原国際観光ホテル 菊之湯  
 (湯原温泉)  
 旭川と山の緑を全室より望める、全国露天風呂番付西の横綱「砂湯」のお膝元のお宿。ペット同伴可能な客室もあります。

真庭市湯原温泉16 TEL:0867-62-2111

山部 泰司 Yamabe Yasushi



- 2017年 「第30回京都美術文化賞」
- 2018年 「生きてゐる山水 廬山をのぞむ古今のまなざし」 岡山県立美術館、岡山
- 2020年 「ドローイングの可能性」 東京都現代美術館
- 2022年 「山部泰司展 光る風景、動く山水 真庭編」 真庭市森山ミュージアム 岡山
- 2023年 特別展「山部泰司展 花と金：ふたつの異なる時間 Yamabe Yasushi Evanescence and Eternity-Flower/Gold」 華鶴大塚美術館 岡山

美術には自由への扉があります。アトリエを自然の多い場所に移してから、さまざまな光や時間の美しさに出会う機会が増えました。幼少期の記憶の風景と現在の自然からのさまざまな発見によって新たな表現の絵画が生まれる瞬間を意識しました。



「天地返し」



八景(湯原温泉)  
「ただいま！」と里帰りするように素のまんま、くつろげるお宿。やさしい天地のお恵みがたっぷりの野菜料理が自慢です。

真庭市豊栄1572 TEL:0867-62-2211



「開く山水1」



小野 耕石 Ono Kouseki



- 2006年 東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻修士課程修了 (版画研究室)
- 2015年 VOCA2015 VOCA賞
- 2015年 岡山芸術文化賞 グランプリ
- 2016年 PAT in Kyoto 第2回京都版画トリエンナーレ2016 大賞
- 2020年 個展「guest room 005 波絵-立ち上がる行為、積層する絵具」北九州市立美術館
- 2024年 個展「影は内」YOKOTA|TOKYO

僕は岡山県立総社南高校を卒業してすぐに東京に出ました。大学を修了し、関東のギャラリーや美術館を中心に作品を発表してきましたが、今年から岡山県矢掛町にアトリエを移し生活と制作を開始しています。95歳の祖母と同居し、山と地面との付き合い方を少しずつ意識し始めています。文化は土地が生み出すもの、ここから何か新しい表現を模索していきます。



「Loopprint」



池田屋 河鹿園(奥津温泉)  
 源泉掛け流しの温泉から見渡す吉井川の景色は絶景。吉井川のせせらぎといで湯が身も心も癒してくれます。道向かいの河鹿園コーヒーどうぞ。

苫田郡鏡野町奥津55 TEL:0868-52-0121



「次点」



「Inducer.9」

北川 太郎 Kitagawa Taro



2022年 特別出品「これってさわれるのかな？彫刻に触れる展覧会」(神奈川県立近代美術館)  
 2022年 DOMANI・明日展(国立新美術館/東京)  
 2023年 文化庁新進芸術家在外研修員短期派遣(イタリア)  
 2024年 個展(兵庫県立美術館)  
 2024年 エルメス財団とActes Sud社が共同で編集した《Savoir & Faire》にて特集紹介される。  
 2025年 瀬戸内国際芸術祭2025(やしまーる/高松市)

存在しないものの魅力を引き出す事に着目したシリーズ「静けさ」、時間の可視化を試みたシリーズ「時空ピラミッド」、触覚性に着目したシリーズ「手の考える世界」等、現代への警鐘となる展覧会へ多く参加し、石の内包する魅力をさまざまなアプローチで展開している。



「ひのした、みずのうえ」



池田屋 河鹿園(奥津温泉)

源泉掛け流しの温泉から見渡す吉井川の景色は絶景。吉井川のせせらぎといで湯が身も心も癒してくれます。道向かいの河鹿園コーヒーどうぞ。

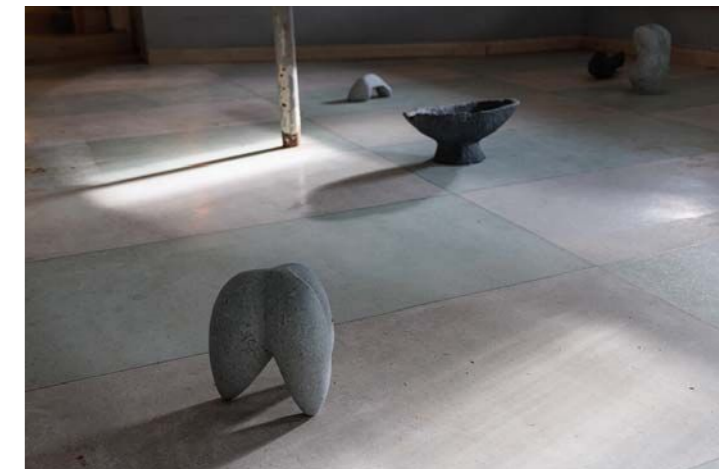
苫田郡鏡野町奥津55 TEL:0868-52-0121

長谷川 さち Hasegawa Sachi



武蔵野美術大学大学院造形研究科 修士課程美術専攻彫刻コース修了  
 2017年 レイラインー長谷川さちの彫刻」平塚市美術館  
 2019年 「空間に線を引く 彫刻とデッサン展」平塚市美術館、足利市立美術館、碧南藤井達吉現代美術館、町立久万美術館  
 2020年 「真鶴町・石の彫刻祭」'20年 神奈川県足柄下郡  
 2021年 「すべてのひとに石がひつよう 目と、手でふれる世界」ヴァンジ彫刻庭園美術館 2024年「Garden」hino gallery

存在するが不可視なものや物理的に触れられないものをテーマに、石とガラスを素材とし制作をしている。作品表面には無数に彫られたノミ跡が特徴で、膨大な時間と素材とのやり取りが残されている。彫刻を置くことにより、複数の次元が交差しポータル装置となるような彫刻作品と空間の表現を探求している。



染谷 悠子 Someya Yuko



- 2006年 東京藝術大学大学院修士課程美術研究科版画専攻 修了
- 2014年 「Yuko Someya」(Richard Heller Gallery・サンタモニカ)個展
- 2014年 「現代美術の展望 VOCA展 2014 -新しい平面の作家たち-」 佳作賞受賞
- 2016年 「生きとし生けるもの」(ヴァンジ彫刻庭園美術館・静岡) グループ展
- 2024年 「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 作州民芸館・津山、岡山) 国際展
- 2024年 「野花の中にあなたを見る」(小山登美夫ギャラリー-天王洲・東京) 個展

パネルにキャンバスや和紙を張り、やわらかな風合いを生かした繊細な筆致と色彩により、身近な風景と生命の根本をからめた独自の世界観を表現している。



「トメヨさんのガーデン」



池田屋 河鹿園(奥津温泉)

源泉掛け流しの温泉から見渡す吉井川の景色は絶景。吉井川のせせらぎといで湯が身も心も癒してくれます。道向かいの河鹿園コーヒーどうぞ。

苫田郡鏡野町奥津55 TEL:0868-52-0121



「小さな野で遊ぶ」



中島 麦 Nakajima Mugi



大阪・京都拠点 京都市立芸術大学美術学部油画専攻 卒業  
 2022年 「美作三湯芸術温度」米屋倶楽部 奥津／岡山（2016／湯郷グランドホテル）＊現在も作品はあります。  
 2023年 【個展】「LUMINOUS/MULTI/SILVER～色彩の時間～」奈義町現代美術館／岡山（2012）  
 2024年 【個展】公開制作＋展示／高島屋大阪店／正面入口，メインウィンドウ  
 2025年 【壁画制作】「Study：大阪関西国際芸術祭」ウォータープラザマーケットプレイス西館／大阪・関西万博会場内  
 2025年 【個展】「DIVING to COLOR OCEAN」／京都蔦屋書店

抽象絵画を制作する事を中心に、そこから拡張する出来事を取り込みながら活動中。芸術温度への参加は3回目、近年は使われることなくなった屋外の温泉プール跡に、奥津で感じた色を現場の空気と共に流し描きました。タイトルの《DIVING》は、僕自身が絵に飛び込み、潜るような感覚で絵を描いていること、色彩の海でダイビングするように作品を体験して欲しいという思いから名付けました。色と重力が描き出した色彩の美しき振る舞いを、水面に映る移ろう季節と共に楽しんで頂ければ嬉しい。



「DIVING to OKUTSU COLOR」  
 2025／現地制作  
 約7m×15×2m(変形)  
 既存の建築物(使われていない温泉プール)に直接ペイント



米屋倶楽部 奥津(奥津温泉)  
 奥津温泉街の高台から見渡す奥津の景観と四季折々の食、自家源泉のいで湯が皆様をお待ちしています。

苫田郡鏡野町奥津196-5 TEL:0868-52-0016



藤沢 まゆ Fujisawa Mayu



- 2015年 高遠エフェクト／信州高遠美術館・長野県
- 2018年 シンビズム／諏訪市美術館・長野県
- 2019年 個展／日本橋高島屋7Fインテリアアートギャラリー・東京都
- 個展／新宿伊勢丹本館F6アート&フレーム・東京都
- アートフェア／LUMINE ART FAIR／LUMINE 0・東京都
- 2024年 個展／志賀高原ロマン美術館・長野県

染色の筒描きや写し友禅などの日本の伝統工芸を用いて、布に絵を染めた作品を制作している。

植物や動物を入り交えた絵に合わせて、それぞれの物語を作り作品を発表している。内側から溢れ出る絵と言葉によって、それぞれのひとの共感する思いや感動が水面のようにじんわりと広がっていくようお願いながら作っています。



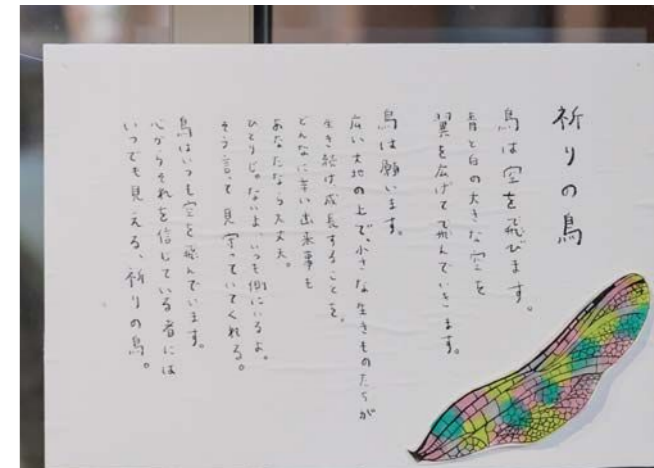
「祈りの鳥」



花美人の里(奥津温泉)

奥津温泉の中心に位置する、木をふんだんに使用したりラックス空間。大浴場にはジェットバス、露天風呂、サウナなどがあり、刺激が少ないアルカリ性単純温泉は、老若男女問わず親しまれています。

苦田郡鏡野町奥津川西261 TEL:0868-52-0788



藤田 雅也 Fujita Masaya



- 2009年 第64回行動展 建畠賞受賞（国立新美術館／東京）
- 2010年 美術家連盟新会員奨励展（美術家連盟画廊／東京）
- 2016年 第9回岡山県新進美術家育成I氏賞選考作品展（天神山文化プラザ／岡山）
- 2019年 第5回立体・彫刻OKAYAMA展（天神山文化プラザ／岡山）
- 2023年 兵庫教育大学大学院連合学校教育学専攻（博士課程）修了
- 2023年 万成石50の表現－彫刻家51人による万成石の彫刻たち（天神山文化プラザ／岡山）

石との対話、時との対話、人との対話を大切にしながら、生命や誕生をテーマとした彫刻制作を展開しています。石の自然な割れ肌と手仕事による表現を対比させることによって、人が触りたくなるかたちを追究し続けています。



「大地から-18」



道の駅 奥津温泉(奥津温泉)

見晴らしの良い高台にある道の駅です。奥津地方特産姫とうがらしや地元で採れた野菜や花などの他、お土産も豊富に取り揃えています。お食事処「てっちりこ」も人気です。

苫田郡鏡野町奥津463 TEL:0868-52-7178



「時の記憶-24」



「大地から-23Ⅱ」



「大地から-16」

「大地から-対話」



「大地-18」



松村 晃泰 Matsumura Teruyasu



- 2007年 第1回国際彫刻シンポジウムロルダン 第1位 [アルゼンチン ロルダン]
- 2018年 国際雪像フェスティバル (共同制作) 第2位 [スイス グリンデルワルト]
- 2021年 松村晃泰展 -視線の行方- [岡山市 天神山文化プラザ]
- 2022年 ザ・のみぎりズム2022 (企画・参加) [岡山県 矢掛町]
- 2023年 令和5年度 (第50回) 岡山市文化奨励賞
- 2024年 岡山市市民栄誉賞 (岡慎之助選手受賞) 記念トロフィー制作

石彫・雪彫を中心に彫刻家として活動。学生時代、岡山市犬島に延べ2か月滞在し、共同制作でモニュメント「スケッチ」を制作・設置。以来、岡山との縁が絶えない。2015年、京都市から岡山市に移住。2016年、矢掛町で「ザ・のみぎりズム2016」を企画・開催。2019年、矢掛町に仲間とチョコレート専門店「石挽カカオ issai」開業。芸術に固執しない「ものづくり」を通して様々な「ことづくり」に挑戦している。



「天の浴槽」



道の駅 奥津温泉 (奥津温泉)

見晴らしの良い高台にある道の駅です。奥津地方特産姫とうがらしや地元で採れた野菜や花などの他、お土産も豊富に取り揃えています。お食事処「てっちりこ」も人気です。

苫田郡鏡野町奥津463 TEL:0868-52-7178



「Phantom - TECCHIRIKO - 」



森山 知己 Moriyama Tomoki



- 1983年 東京芸術大学大学院美術研究科絵画専攻修士課程修了
- 1985年 東京セントラル絵画館で初個展以後、50以上の個展を行う
- 2014年 福武文化奨励賞受賞
- 2016年 岡山芸術文化賞準グランプリ
- 2016年 第13回マルセン文化賞（特別賞）
- 2019年 山陽新聞賞（文化功労）
- 2020年 RSK山陽放送 能楽堂ホール tenjin9 鏡の松制作

国の名前のついた絵画とはいったいどんな絵なのだろう？ 古からの材料や技法、画題などを用いて、絵を描くことを通して探しています。描き続けるうち、「水」の使い方、「水との関係」を、この国の名前のついた絵画は、古来とても大切にしてきたのだと感じるようになりました。日本画とは、水に恵まれた国、自然に恵まれた平和な国を表す絵画ではないかという思いを強くしている今日このごろです。



「水の記憶 3」



名泉鍵湯 奥津荘(奥津温泉)  
 極めて優秀な自家源泉を有する奥津荘。  
 温泉本来の効能を全身で感じることで、その圧倒的な癒しをご体感ください。

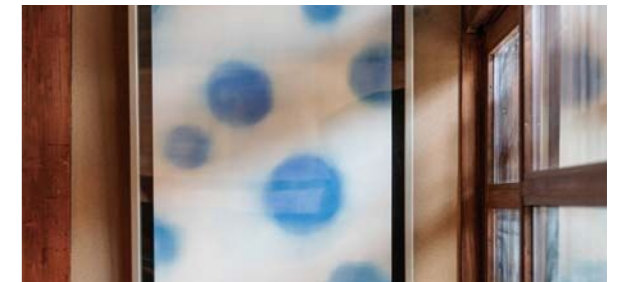
苫田郡鏡野町奥津48 TEL:0868-52-0021



「水の記憶 1」



「水の記憶 2」



# 太田 三郎 Ota Saburo



- 2013年 第4回「創造する伝統賞」受賞
- 2019年 個展「太田三郎—此処にいます」岡山県立美術館／岡山
- 2021年 第73回「岡山県文化賞／芸術」受賞
- 2022年 太田三郎展「人と災いとのおりよう」BBプラザ美術館／兵庫
- 2024年 個展「太田三郎：OTA Saburo 1994-2024」奈義町現代美術館／岡山
- 2024年 国際芸術祭「森の芸術祭 晴れの国・岡山」岡山県北エリア／岡山

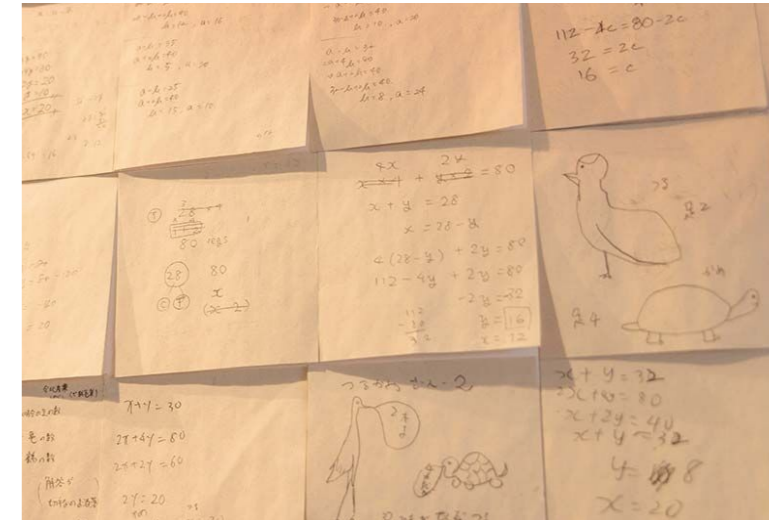
既製の郵便切手や自ら制作したオリジナル切手を用いて「時間」と「場所」を記録する作品、生活の中に潜む見えない関係性を可視化する作品などをつくり続けている。一般参加型のワークショップも数多く手がけ、東京国立近代美術館、東京都現代美術館、ドレスデン国立美術館（ドイツ）など内外の美術館に作品が収蔵されている。



「鶴亀算」



「円周率」



花の宿 にしき園(湯郷温泉)  
 中庭の見える開放感のあるロビーは、アロマの香りが漂い癒される空間。季節の生花が随所に生けられ、女将の押し花絵が館内を彩ります。

美作市湯郷840-1 TEL:0868-72-0640

片山 高志 Katayama Takashi



- 2011年 グループ展「VOCA展2011 -新しい平面の作家たち-」  
上野の森美術館（東京）
- 2020年 グループ展「ENCOUNTERS」ANB TOKYO（東京）
- 2022年 グループ展「たし算の絵・ひき算の絵」ANAインターコ  
ンチネンタル東京（東京）
- 2022年 個展「矩形の庭」銀座蔦屋書店（東京）・京都岡崎蔦屋書  
店（京都）
- 2023年 個展「INNER IMAGE」LIBRIS KOBACO（福岡）・EUREKA  
（福岡）
- 2025年 個展「何かの何かだと思ったら、何の何でもなかった」  
奈義町現代美術館（岡山）

曖昧であること 明確であること 偶然に放つこと 意思を流すこと 物質であること  
 と 非物質であること 色であること 色ではないこと 機械にならないこと 自動で  
 あること 美しくあること 芸術を忘れること 再現しないこと あるがままであること  
 自然であること 人間であること 言葉になる前のこと 身体があること 脳があること  
 心はどこにあるのか わからなくとも 楽しむこと 目の前と戯れる 子供のように

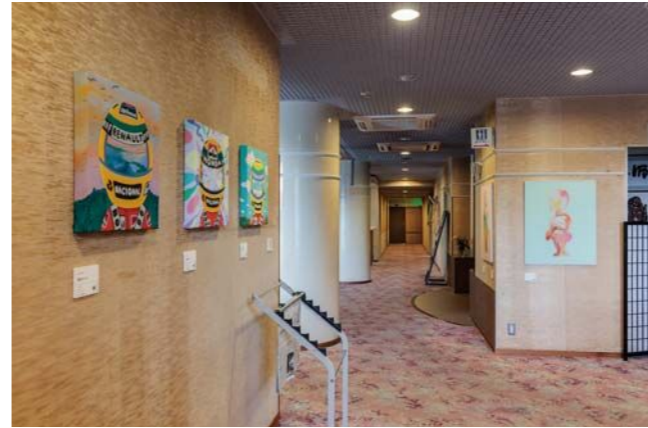


「あたらしいこども」シリーズ

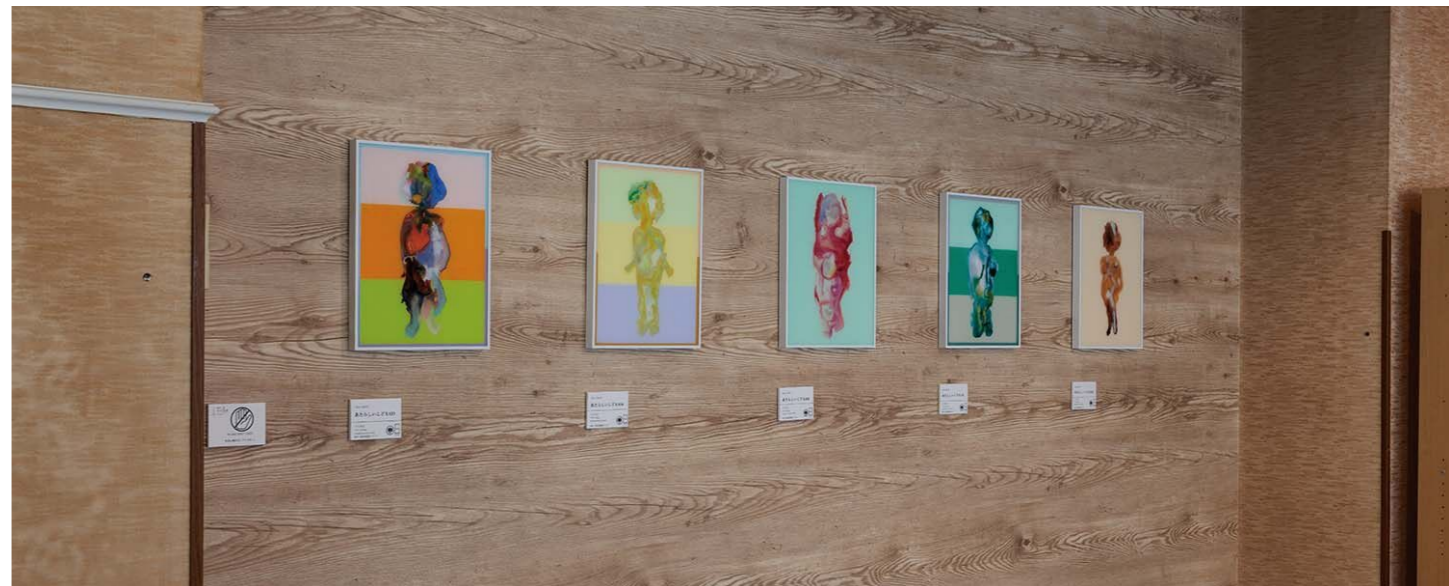


ゆの とう 館 Will be(湯郷温泉)  
 吉野川のほとりに佇む当旅館は、静けさあふれる癒やしの宿。美肌効果で知られる、やわらかな湯が日々の疲れを優しく洗い流してくれます。食事はしゃぶしゃぶ御膳が楽しめます。

美作市湯郷906-1 TEL:0868-72-1126



左から「黄昏のセナ」「音速のセナ」「追憶のセナ」



柴川 敏之 Shibakawa Toshiyuki



- 2002年 「ヒロシマアートドキュメント」旧日本銀行広島支店（広島）
- 2008年 個展「2000年後の未来遺跡」青森県立美術館（青森）
- 2012年 「始発電車を待ちながら」東京ステーションギャラリー（東京）
- 2015年 「アート・オブ・メモリー」北九州市立美術館（福岡）
- 2018年 個展「ぼくのおくさん☆柴川敏之展」つなぎ美術館（熊本）
- 2022年 個展「41世紀の蒜山博物館」真庭市蒜山ミュージアム（岡山）



湯郷温泉のシンボルでもある石彫  
(慈覚大円仁法師と白鷺)

「2000年後（41世紀）から見た現代社会」をテーマに、日常の見慣れた物を出土品（化石）のように変換することで、未来の視点から現在を俯瞰し、現代社会に潜在する諸問題を露わにしている。

湯郷温泉は、約1200年前に円仁法師がこの地で、白鷺が足の傷を癒しているのを見て発見したと伝えられ、別名「鷺の湯」として親しまれてきた。今回は、このエピソードを元に、「41世紀の湯郷温泉ミュージアム」をテーマに展示を行った。



「41世紀の湯郷温泉ミュージアム」



和モダンなお宿 かつらぎ(湯郷温泉)  
地元食材を使った『豪華でなくても温かい』お料理や、貸切露天風呂「月の湯」、宿前のカフェや梅酒バー、エステやヨガ体験など楽しみ方いろいろ♪

美作市湯郷800 TEL:0868-72-1555



高橋 直宏 Takahashi Naohiro



2017年 「アートアワードトーキョー丸の内2017」／新東京ビル（東京）  
 2021年 「群馬青年ビエンナーレ2021」／群馬県立近代美術館（群馬）  
 2022年 「AGAIN-ST ルーツ／ツール 彫刻の虚材と教材」／武蔵野美術大学美術館（東京）  
 2025年 「第12回500m美術館賞入選展」／札幌大通地下ギャラリー500美術館（北海道）  
 2025年 個展「インフラ・ヒューマンと3つのC」／トーキョーアーツアンドスペース本郷（東京）  
 2025年より横浜美術大学彫刻コース助教に就任

手足を切断したり、つなぎ合わせたりする「可変可能な」人体彫刻を通して、身体のあり方を問いかける制作をしています。本展では、宇宙人の彫刻を圧縮袋に詰めた《包圧》と、会期中に新しい頭部が届き、別のものと入れ替わる《新しい顔》を展示します。

医療や物流が発達した現代において、私たちの身体はまるで物質のように加工や輸送が可能なものになりました。私は旅行や宿泊といった体験にも似たようなものを感じています。



「包圧」

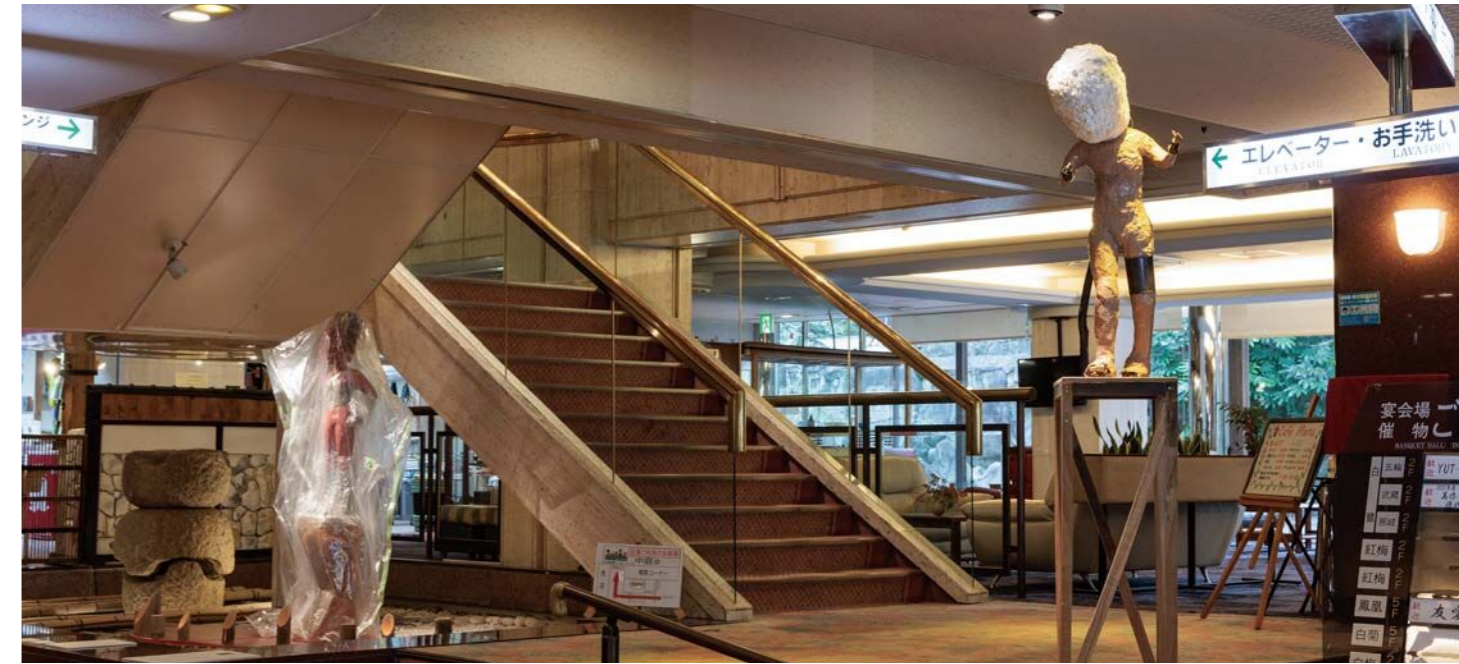


湯郷グランドホテル(湯郷温泉)  
 ロビーには生花が飾られており、美味しくボリュームあるお料理と何度でも入りたくなる温泉など、お客様の心を和ませられる空間があります。

美作市湯郷581-2 TEL:0868-72-0395



「新しい顔」



田代 卓 Tashiro Taku



1981年 桑沢デザイン研究所 グラフィック研究科卒業  
 1998年 第6回桑沢賞受賞  
 2009年 日本デザイン振興会グッドデザイン賞受賞  
 2016年 奈義町現代美術館ギャラリーで個展開催

イラストレーター、グラフィックデザイナーとしての活動のほか、絵本の作品に『Baby Books』シリーズ（偕成社）、『なに なに なあに？』（フレーベル館）等がある。桑沢デザイン研究所非常勤講師、九州産業大学芸術学部教授等歴任。現在、造形作家としての制作活動を展開している。



「心-A1」

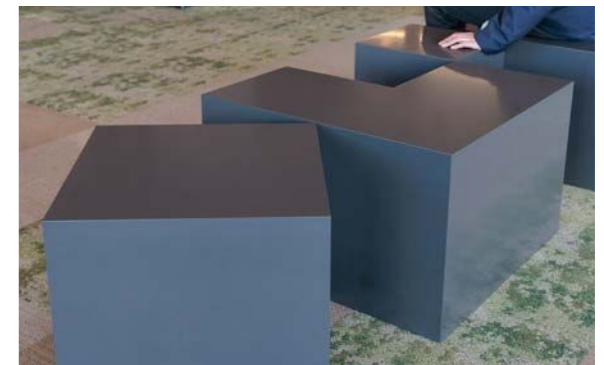


「心-A1-O」



やさしさの宿 竹亭(湯郷温泉)  
 “やさしさの宿 竹亭”は、湯郷温泉の高台に位置し、風の館7階の展望浴場からは湯郷の四季を彩る山々が見渡せます。

美作市湯郷622-1 TEL:0868-72-0090



# 寺本 明志 Teramoto Akashi



- 2017年 多摩美術大学大学院 博士前期課程美術研究科 絵画専攻 油画研究領域 修了
- 2021年 清須市第10回はるひ絵画トリエンナーレ 審査員賞【吉澤美香】受賞
- 2022年 「In search of others」(KOTARO NUKAGA) 出展
- 2022年 清須市はるひ美術館〔愛知県〕で個展「冒険と選択」開催
- 2024年 KATSUYA SUSUKI GALLERY〔東京〕で個展「単位のレシビ」開催
- 2025年 高松シンボルタワーで「高松芸術港」〔香川県〕出展

近年はPatio（中庭）を、外と内の境界がない中立的な場として捉え、様々なもの・動物・人を役割から離し等価に描いている。統一性のない要素が同一の場に置かれることで、差異を留保したまま関係性が立ち上がる絵画を試みてきた。本展では、宿泊施設の廊下に飾られた湯郷の風景画を道標のように感じた体験から、旅人の記憶を重ねていく参加型の作品を制作した。宿泊地において、過ぎた旅路とこれからの旅路が静かに交差していく。



「Patio - 午睡 -」



リゾートイン湯郷(湯郷温泉)  
 緑豊かな奥湯郷の高台に佇む当館は、リノベーションしたコテージ、ツイン、トリプルとあり、カップル、家族、三世代で楽しんでいます。ベットと泊まれるコテージもあります。男湯には檜のサウナもあり、自然の中の温泉、サウナで日頃の疲れを癒すことができます。

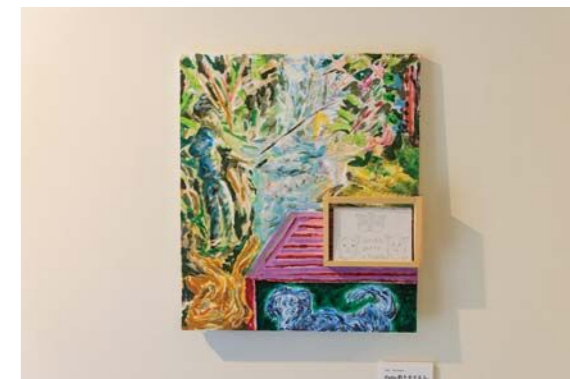
美作市中山886-1 TEL:0868-72-4019



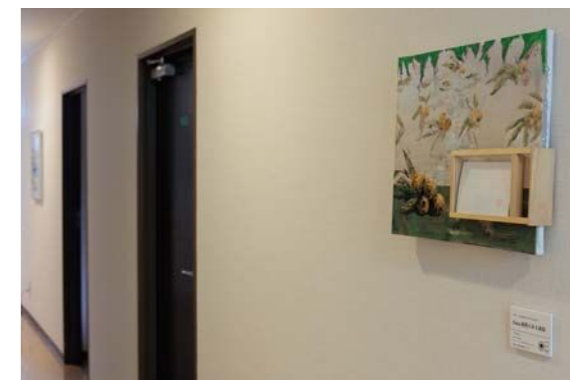
「Patio - 行き先を探す人 -」



「Patio - 夕食の支度をする人 -」



「Patio - 釣りをする人 -」



「Patio - 枇杷のある風景 -」

# 花房 紗也香

Hanafusa Sayaka



- 2014年 多摩美術大学大学院絵画科油画専攻修了
- 2013年 「VOCA」上野の森美術館（東京）大賞受賞
- 2015年 個展「ARKO」大原美術館（岡山）
- 2021年 個展「窓枠を超える」奈義町現代美術館（岡山）  
「自動と構成」ポーラミュージアムアネックス（東京）
- 2024年 第十四回 I氏賞受賞作家展「SPIN記憶の再生」岡山県立美術館（岡山）

窓や鏡、画中画を手がかりとし、内と外が入り混じるような絵画作品を制作する。  
2020年に岡山県勝田郡奈義町に移住し、絵画教室Atelier Blanc（アトリエ・ブロン）の主宰。  
WSの企画などを行い、自身の制作だけでなく、地域にアートを身近に感じてもらう活動を行っている。



「アーチ」



ホテル湯の杜美春閣(湯郷温泉)  
湯郷温泉の高台に位置する県内最大級の温泉宿泊施設。施設もリニューアルを続けており、県内外の多くのお客様にお越しいただきお喜びいただいております。

美作市中山1144 TEL:0868-72-8111

森本 啓太 Morimoto Keita



主な個展

- 2014年 「The Nightwatchers」 トロント・カナダ現代美術館（トロント／カナダ）
  - 2025年 「アペルト19 森本啓太 what has escaped us」 金沢21世紀美術館 長期インスタレーションルーム（金沢／日本）
  - 2025年 「To Nowhere and Back」 Almine Rech（ニューヨーク／アメリカ）
  - 2026年 「what we told ourselves」KOTARO NUKAGA Tennoz（東京／日本）
- コレクション
- アーツ前橋（日本） 滋賀県立美術館（日本） High Museum of Art（アメリカ）

1990年大阪生まれ。2006年にカナダへ移住し、2012年オンタリオ州立芸術 大学（現・OCAD大学）を卒業。バロック絵画や20世紀初頭のアメリカン・リアリズム、そして古典的な風俗画の技法やテーマに強い関心を持ち学んできた森本は、これらの伝統を参照し、ありきたりな現代の都市生活のワンシーンを特別な物語へと変貌させる。象徴的に「光」を描くことによって、その神聖で普遍的な性質を消費文化の厳しい現実と融合させ、歴史のもつ深みと現代的な複雑さが共鳴する作品を生み出している。



「Fragmented Night」



季譜の里(湯郷温泉)

石畳のエントランスを抜けると視界に入るのは野山の木々が彩る独創的な活け花。微かに漂うお香は白檀で、ワンランク高い香りに魅了されます。

美作市湯郷180 TEL:0868-72-1523



「Dark Hill」



左上、左下、右下「Echoes of Colour」シリーズ



## 美作三湯芸術温度2025 会期中のイベント

参加アーティストと来場者が交流できるイベントとして、会期中の11月から12月にかけて各温泉地で参加アーティストによるワークショップ等を実施しました。

### 湯郷温泉

令和7年11月3日(月・祝) 「芸術温度作品鑑賞ツアー&花房紗也香さんと話そう」



<参加アーティスト> 花房紗也香  
<会場> ホテル湯の杜美春閣

花房さんのトークショーのほか、アルコールインクを使ったワークショップ、近隣の展示施設を周り感想を語り合う鑑賞ツアーを実施しました。

※岡山県アートマネジメント人材育成・地域課題解決支援事業で実施

### 湯原温泉

令和7年11月16日(日) ワークショップ「洗濯バサミでつくろう/日常品から世界を読み解くワークショップ」  
「ハサミを使って、できるだけ高い塔を作ろう！」

<参加アーティスト> 高本敦基、北川太郎  
<会場> 湯原ふれあいセンター

どちらも身近なものを使ったワークショップで、小さな子どもから大人まで幅広い年代の来場者に参加いただきました。



令和7年11月16日(日) アーティストトーク

<参加アーティスト> ぐしけんしおり  
<会場> プチホテルゆばらリゾート

ぐしけんさんの作品コンセプトや、芸術温度の作品制作エピソードなど、旅館スタッフの方も加わり、楽しいトークをしていただきました。



### 奥津温泉

令和7年12月6日(土) 「アーティストトーク@池田屋 河鹿園」



<参加アーティスト> 小野耕石、北川太郎、染谷悠子、中島麦、  
長谷川さち、藤沢まゆ、松村晃泰、森山知己  
<会場> 池田屋 河鹿園

奥津に作品展示しているアーティスト8名が集い、温泉施設等に作品展示をすることについての思いや各ジャンルの制作話などでトークが盛り上がりました。

## 美作三湯（湯原温泉・奥津温泉・湯郷温泉）の紹介

岡山県北にある美作三湯は、湯原温泉・奥津温泉・湯郷温泉の3つの名湯からなる西日本有数の温泉地です。

### 湯原温泉

ダム直下の24時間無料で開放されている混浴の「砂湯」で有名な温泉。日本でも珍しい川底から自噴する生まれたてのつるりとした湯を堪能できる。

<所在地> 真庭市湯原温泉  
<交通手段> JR中国勝山駅から真庭市コミュニティバス  
まにわくん♡(蒜山・久世ルート)で約35分、  
「湯原温泉」下車  
米子自動車道「湯原IC」から車で約10分  
<問合せ> 0867-62-2526 (湯原観光情報センター)



### 奥津温泉

清流せせらぐ奥津溪近くの温泉。泉質は、美肌効果が高いとされるアルカリ性単純温泉。とろりとした感触の美人の湯で素肌に元気と潤いをチャージ!

<所在地> 苫田郡鏡野町奥津  
<交通手段> JR津山駅から中鉄ほくぶバスで約60分、  
「奥津温泉」下車  
中国自動車道「院庄IC」から車で約25分  
<問合せ> 0868-52-9100 (鏡野観光局)



### 湯郷温泉

約1200年余の歴史を誇る温泉。「美人の湯」といわれ、世界的にも珍しいといわれるラジウム気泡を含んだ泉質で、しっとりポカポカが続く。

<所在地> 美作市湯郷  
<交通手段> JR岡山駅から宇野バス湯郷温泉・林野駅方面  
行きで約100分、「湯郷温泉下」下車  
中国自動車道「美作IC」から車で約10分  
<問合せ> 0868-72-2636 (湯郷温泉旅館協同組合)

## デザイン&ロゴ

メインデザイン | 株式会社Logoo Design

ロゴデザイン | 横田 久美子

### ●ロゴタイプ



### ●ポスター

サイズ/A1



### ●フライヤー

サイズ/A4



### ●ハンドブック

サイズ/A6



### 美作三湯芸術温度2025

会期 | 2025年8月29日(金)～12月7日(日)(101日間)

会場 | 美作三湯(湯原、奥津、湯郷温泉)の宿泊施設等27か所

キュレーター | 岸本 和明(奈義町現代美術館 館長)

主催 | 岡山県

美作三湯芸術温度2025展示作品集

2026年3月発行

発行 | 岡山県環境文化部文化振興課

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6

☎086-226-7903(8:30～17:15/土日祝を除く)